

2-1 KG-FAXの概要

KG-FAXは短波帯で送信されている無線FAXを受信し、パソコンに画像を表示するWindows用フリーソフトです。短波帯でSSBモードを受信できる受信機のイヤホン端子からの音声出力とパソコンのサウンドカード入力端子を接続するだけで、送られてくるFAX画像をパソコン画面上に表示することができます。

●KG-FAXの特徴

●短波受信機とパソコンでOK

KG-FAXはパソコンのソフトで信号処理を行いますので、受信機とパソコンの間にモデムなどを必要としません。受信機のイヤホン端子や外部スピーカ端子、録音信号出力端子とパソコンのサウンドカードの入力端子を接続するだけでFAX画像を表示できます。

●同期を自動的に処理

これまでのソフトウェアFAXデコーダでは画像が斜めになってしまう現象がありましたが、KG-FAXでは同期を自動的に処理して、手動による調整なしでFAX画像を表示します。

●掃引開始・終了信号に対応

KG-FAXでは気象FAXの多くが採用している送信開始信号、送信終了信号を検出するように作られており、この信号を受信して自動的に掃引動作を制御します。そのため、自動に設定しておけば、気象FAXの送信開始に合わせていちいち掃引ボタンをクリックする必要はありません。また送信終了と同時に画像を保存した後、次の画像の受信に備える機能も有しています。

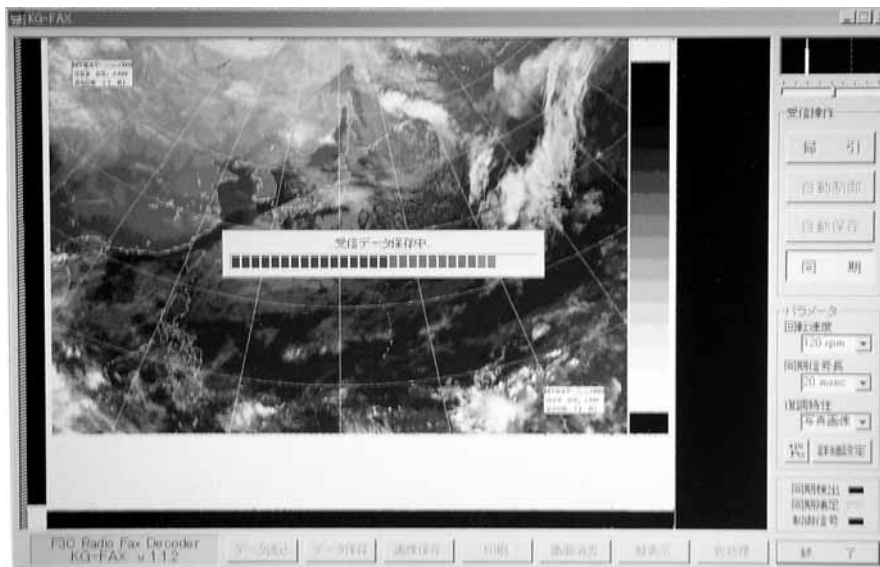
●無線FAXのいろいろなパラメータに対応

無線気象FAXは国によって回転速度や同期信号長が異なっていますが、KG-FAXは主要なパラメータに対応しています。

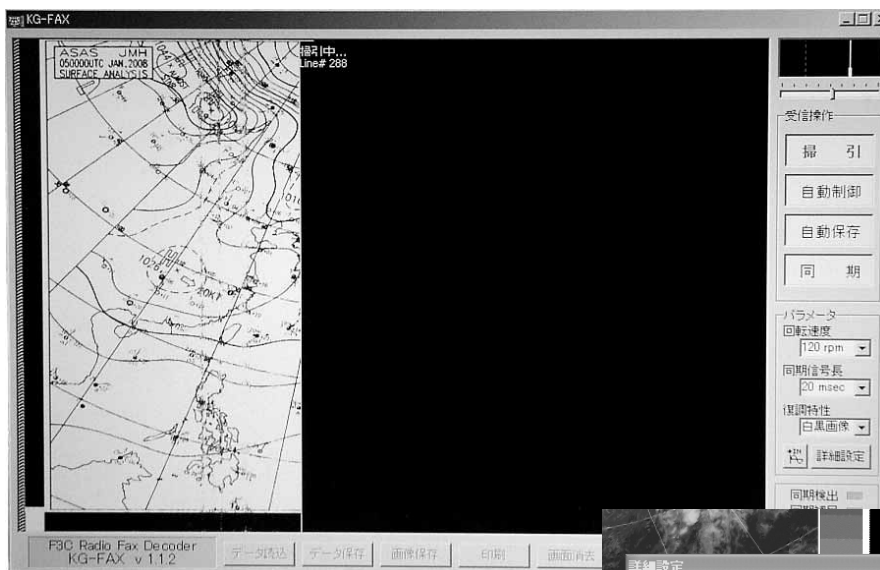
回転速度は60rpmか120rpm、同期信号長は10～50msec(5msec step)を設定できるので、各国の気象FAXから無線新聞FAXまで対応できます。

短波受信機とパソコンで気象FAXを表示、
保存できる

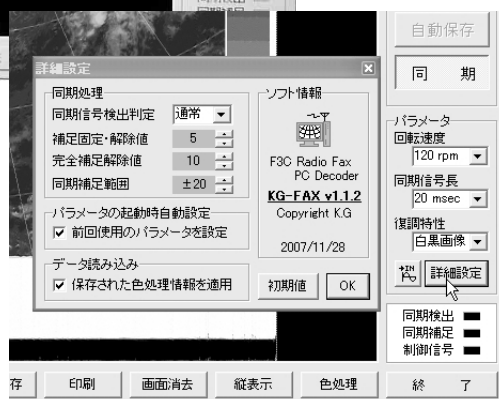




受信画は自動的に処理され、めんどろな同期合わせなどが不要



気象FAXの送信開始・終了信号を自動検出して、掃引(受信)を開始。受画が終了すると受信を終了し画像データを自動的に保存してくれる



各種の設定画面で、日本以外の気象FAX送信にも対応